

希望を求めて

AMDA 30年

①

の町もLTTEと敵対する政府軍に攻撃された。80年代、ニティアンさんが10代の頃だ。

スリランカの内戦
ヒンズー教徒の多い少数民族・タミル人(北部)と、仏教徒主体の多数派・シンハラ人(南部)との対立が1980年代から武力衝突に発展。両者は2002年に停戦したものの、06年ごろ再燃。シンハラ側を代表する政府が停戦合意を破り、09年、LTTEを制圧した。死者は7万人以上。日本政府はノルウェーなどとともに停戦を呼びかけ、AMDAは政府代表からの要請を受け、現地入りした。

数派・シンハラ人(南部)との対立



AMDAの「医療和平プロジェクト」は、敵対する北部、南部、東部の3カ所に拠点を置き、平

「子供の頃、いつも誰かに助けてほしかった。でも、誰も助けに来てくれなかった」。ニティアンさんは振り返る。国の北部に住む少数民族・タミル人。内戦で、北部には武装勢力「タミル・イーラム解放のトラ(LTTE)」が台頭し、故郷

AMDAの活動は内戦の再燃で06年に終了した。ニティアンさんはAMDAで働きたいと希望した。そして今、スリ

民族同士の相互理解探る

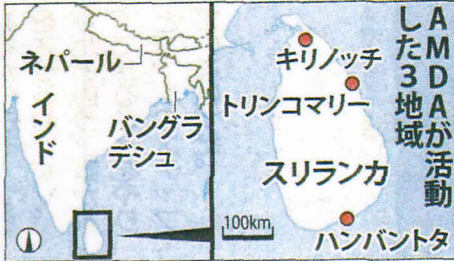


3月にマニラであった国際会議で、参加者と話すニティアンさん。現在はAMDA職員として海外を飛び回る＝フィリピン・マニラで

AMDAが活動した3地域
ネパール、インド、バングラデシュ、スリランカ、ハンバントタ

AMDAは今年、設立30年を迎えた。AMDAの活動や、関わる人々を紹介する。【五十嵐朋子】

平和構築



スリランカ出身のニティアンさん

インド南東の島国、スリランカ。「緑の楽園」と呼ばれたが、長く深刻な内戦に翻弄された。同国出身のニティアン・ピラバグさん(45)は、2007年から国際医療NGO「AMDA」(北区伊福町3)の職員として働いている。平和を願う姿勢に共鳴した。「内戦の経験があったからこそ、誰かを助けたい」と話す。

AMDAは今年、設立30年を迎えた。AMDAの活動や、関わる人々を紹介する。【五十嵐朋子】